

各専門部から

「新体制スタートにあたり」

北海道稚内養護学校PTA会長 阿部 諭

諭

4月、役員体制が変わり、5月、長かったコロナ禍が少し前進の兆候を見せ、6月、子ども達の笑顔と感動があふれる運動会があり、あっという間に1学期を終える7月となりました。

この数年、生活様式や教育活動の制限により、PTA活動もなかなか行えずにいました。そんな中でも、どのようにして「つながり」を保っていくか、私たちに何ができるかを絶えず考え合ってくることはできました。

今年度からは、改めて保護者・学校・地域とどうつながっていくかアイディアを出し合い、伝統を踏まえつつ進化したPTA活動の始動ができればと考えております。ご意見、ご提案 不安を含め 皆さんの声を聴きながら進んでまいりますので 今後ともPTA活動へのご

<事業部>



今年度の活動についてお知らせします。

○PTA だより「ひかりと花」(年2回発行予定)

PTA 広報誌を通して、PTA活動の様子や行事の様子などを発信します。保護者の皆様が学校行事でお子様を見て感じたことなども掲載する予定ですので、原稿を依頼された際は、ぜひご協力をお願いいたします。

○PTA 懇親会(9月23日)

4年ぶりにPTA 懇親会を開催することといたしました。保護者と教職員とで楽しい話やゲーム等で盛り上がりましょう!皆様、どうぞふるってご参加ください!

○PTA 交流レクですが、今年度についても実施については見送りさせていただきます。

令和5年度 PTA役員及び専門部員紹介

<PTA役員>

会長:阿部 諭(高等部2年)
副会長:松川 豪(高等部3年)
監査:尾形 千晶(高等部1年)
:大塚 拓海
会計:伊藤 泰規
顧問:岩佐 延寿

<専門部>

○小学部

3年 青山 陽子(育成部)
3年 小林 記子(育成部)

○中学部

1年 近江真由美(育成部)
1年 廣末 千尋(事業部)

○高等部

2年 紀ノ國幸江(事業部)
3年 玉置美佐子(事業部)

<事務局>

事務局長:林 和憲
事務局次長:平川 亮一
:中畑 美記

事業部:増田 朗久
:志田 史子
:福山祐太郎

育成部:竹内 大輔
:工藤 光記
:松井 友香

(敬称略)



<育成部>



今年度の活動についてお知らせします。

○PTA座談会(7月21日)

視察研修や日頃の悩みなど、会員の皆様と気軽に語り合う予定です。

○視察研修(11月頃)

今年度は施設見学ができるかを検討しています。行き先や内容を含め、詳しい情報が入りましたら、改めて会員の皆様へお知らせします。

○卒業を祝う会(3月15日)

これまで、卒業式の後に会食をしながら、卒業生の成長の振返りやレクリエーションを行ってきました。今年度も、会食をすることは現在の状況からみても厳しいと思われるため、昨年度と同様に、卒業生への花束贈呈を行いたいと思います。

第46回運動会

スマイル！ ～なかまとちからをあわせて げんきにがんばろ

今年度の運動会が6月17日（土）に行われました。この日のために子どもたちはたくさん練習し、たくさん体を動かしていました。練習の成果を十二分に発揮し、子どもたちのひたむきに頑張る姿を見ることができたのではないのでしょうか。皆様から送られたご声援や温かい拍手、本当にありがとうございました。

3名の保護者より寄せられた運動会の感想を紹介します。ご執筆いただいた保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。



『頑張ったね運動会』

高等部1年 松長 ゆかり

高校生になって初めての運動会、緊張しながら開会式の行進をしてくるのでは？と心配しながら観ていましたが、そんな姿は全くなく堂々としていました。その姿を見た瞬間、大丈夫！と確信しました。楽しそうに、時には慎重に競技をこなしていました。観ていて自然と笑顔になれる運動会でした。

「お疲れさま！」

「頑張ったね！運動会！」

百点満点の競技と笑顔を見せてくれてありがとうございます。



『楽しかった運動会』

高等部1年 花田 公美子

初めての養護学校での運動会。「わくわく」楽しみにしながら家族で応援。今までお友達にリードされていた瑠唯が、友達のことを考え、協力し、時にエスコートしながら競技に望む姿は、今まで感じた事の無い成長。友達への思いやりがとても伝わり、何より笑顔で取り組む嬉しそうな表情に私達も笑顔で見ることができました。

みんなに「頑張れー」と声や手を盛り上げ応援できた暖かい運動会でした。「瑠唯上手だったね。お友達に優しくったね。」と声をかけた時の、照れくさそうだけど満足気な笑顔がとても印象的でした。「出来る」と思って見ていた祖父母も涙を浮かべ成長を喜んでいました。

この運動会を機に、これからの授業・行事等でいろいろ学び合いながら、父兄との繋がりも深まることを楽しみにしております。

4月から一人ひとりに合わせたカリキュラムを立て、日々の学習面・生活面と大変な中で温かい運動会を先生方、父兄のみなさま、本当にありがとうございます。



『悔しかった運動会』

中学部1年 熊中 真衣

養護学校での初めての運動会。娘は何週間も前から楽しそうにしている、「大玉、小玉リレーをするんだよ」「紅白に分かれて競争するんだよ」と毎日教えてくれました。そのお陰もあり、私たちもどんな運動会になるのかと、想像を膨らませながら、心待ちにして当日を迎えました。

体育館で待っていると、ニコニコ入場してきた娘。自分の出番まで大きな声援を送っていて、真剣さが伝わりました。リレーで負けた後、悔し泣きをする姿があり、「練習をがんばってきたのだなあ」と思いました。また、悔しい思いをできたというのは成長だと感じ、嬉しくもありました。本気で取り組める競技に工夫してくださった先生方には、感謝しております。素敵な機会をありがとうございます。

